

分類 C-1-②-ア

複数の情報から、自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりする

情報を整理して細分化する作業を、協働で行う姿勢の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立農業高等学校 木村 展久

本時の目標 ・これまでの学びをもとに、プロジェクト学習（課題探究学習）として取り組むべき「課題」を設定する。	校種・学年	高等学校・2学年
	教科・領域	農業・農業と環境
	アプリ・ソフト	・Microsoft 365 ・Teams ・Word ・Excel
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○Microsoft365 にサインインし、Teams のタイムラインを開く。 ◆パスワード忘れへの対応を準備しておく。 ◆生徒同士の助け合いを推奨する。
展開	〇めあて 課題設定に向けた情報整理を、協働作業で進めよう ○教科書やネット検索を使った調べ学習、グループでの相談、他生徒の内容確認などをしながら各自の探求課題を掘り下げる。 ◆〈例〉により文字数や文体を示す。 ◆細かく情報整理させることで、あとの授業で文章化するときの手掛かりになるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返るとともに、成果物としてのレポート提出期限に向けて見通しを立てる。 ◆整理した情報をもとに、さらに調べ学習や協働、教師への相談などを進めさせる。

育成できる情報活用能力

- ◎アカウント・パスワードの管理能力
- ◎グループウェアへの習熟



育成できる情報活用能力

- ◎複数のソースを比較・使い分けながら調べ学習を行う態度
- ◎事象を掘り下げ、細分化して処理しようとする姿勢

育成できる情報活用能力

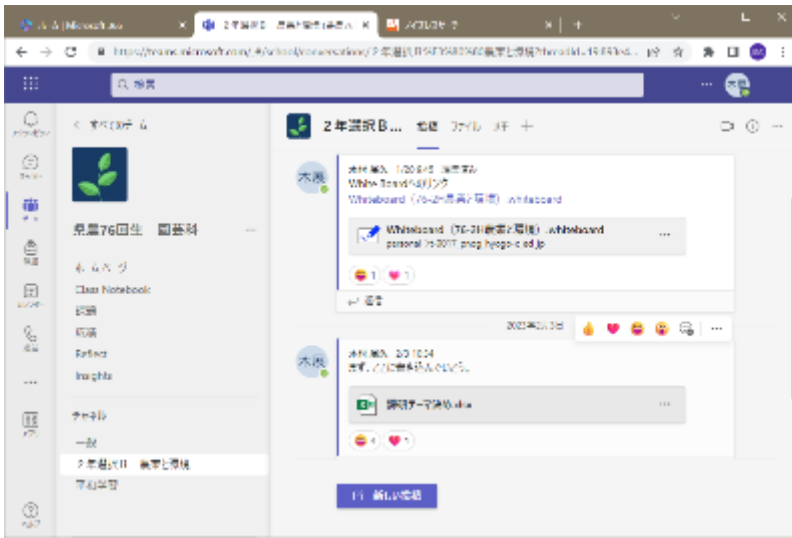
- ◎当たり前のもので Teams 等のグループウェアを活用する姿勢
- ◎整理する→調べる→思考する→整理する→…というサイクルの確認

児童・生徒の感想

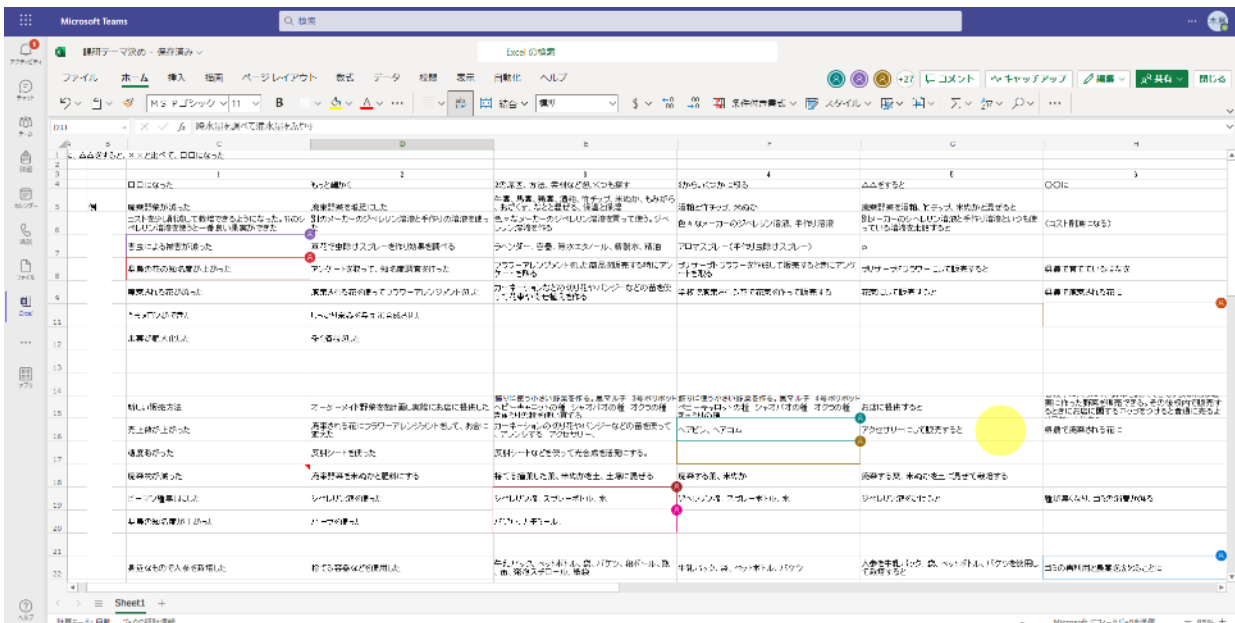
- ・他の生徒の状況が分かり、進み具合や内容などが刺激になった。
- ・例が示されているので何を書くのかが分かりやすかった。
- ・検索サイトの上位に表示された記事が、必ずしも正しいわけではないということが分かった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・グループウェアの活用に習熟し、様々な場面で協働を進める土台を作ることができる。
- ・複数のソースを比較しながら調べ学習を行うなかで、情報の真偽や信憑性を常に意識する姿勢が育成できる。



Teams のタイムライン。
Teams のブラウザ版を使うのは、アプリ版よりアカウント管理がしやすいため。
Chrome を使うのは Edge より軽いため。



共同作業に使用した Teams 版 Excel。
B列に個人名が入力しており、生徒は自分の名前の行を編集する（個人情報のため、この図では削除）。
同期にやや時間がかかることがあるが、この内容の作業では問題ない。
このあとレポート作りで Word を使うので、Google Classroom ではなく Microsoft 365 を使用している。